

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691600037
法人名	社会福祉法人 豊生会
事業所名	グループホーム 曾 於
所在地	鹿児島県曾於市財部町南俣99番地1 (電話) 0986-72-3034
自己評価作成日	平成27年1月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

静かな自然環境に恵まれて、公園や川が流れており整備された遊歩道など、四季を身近に感じる事が出来、市道から距離がある為、交通量も殆どありません。
敷地内には無農薬の野菜畑や花を栽培しており、利用者の方々と収穫の喜びを感じることができます。
又、集落に加入する事により、地域との交流にも取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは民生委員や自治会長等の参加のもと運営推進会議を開催し、ホームの状況を報告したり、地域の情報を収集し話し合い、運営に活かしている。
- ・いきいきサロン等の地域行事への参加や幼稚園児がホームへきて楽器演奏をしたり、寺の住職による法話の機会を持つなど、地域との交流も盛んである。
- ・親戚や知人が面会に来て菓子などの食べ物を持参し部屋でお茶飲みをしたり、馴染みのスーパーマーケットや商店に買い物に行き会話をしたり、家族と一緒に美容室に行く等、馴染みの人間関係が途切れないように支援している。
- ・消防署の立会いのもと避難訓練と自主訓練をしている。スプリンクラーや緊急通報装置・連絡網も完備している。避難場所は近くの高台の公民館となっている。
- ・事業所に菜園があり、収穫をして食材に使っている。誕生会や行事食・外食・弁当を持つての遠足などで食事を楽しんでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	意義を職員全体で確認し合いミーティングの機会を持ち実践に繋げるようにしている。	地域密着型の意義を踏まえた、理念を玄関や事務所に掲げて意識を高めている。毎朝の申し送りで唱和し、ミーティングや職員会議で確認し合い理念に沿ったケアの実践を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事への参加などにより関係作りに力を入れている。幼稚園との交流会、いきいきサロン、ボランティアの受け入れを行ったり、日常的に交流が行なわれている。	自治会に加入し、地域行事への参加やホーム行事へ地域住民の参加、幼稚園児との交流や中学・高校生・ボランティアの受け入れ・住職による毎月の読経や法話を聞く等の交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域での様々な研修に参加して、いきいきサロンや運営推進員会議などで話している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新人職員に対しては1ヶ月間はマンツーマン体制をとりケアの技術面、利用者との関わり方についての指導を実施している。又研修にはなるべく多くの職員が参加出来るようにしている	会議には地域代表や民生委員・行政担当者・家族の参加があり、事業所の取り組みや現状報告・外部評価結果等を報告し、会議での意見や要望などから、開催時間や地域からの参加者の拡大等の意見が出る等、議事録で回覧し、サービス向上に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議において、現状や取り組みについて伝え、市と委員からの情報や助言をいただき活かしている。</p>	<p>市の担当者とは申請書等を直接持参し、事業所のホーム便りで状況報告行い、電話でも連携を取っている。市からの研修には積極的に参加し協力関係を築いている。行政から運営推進会議などにも参加してもらい協力的な関係にある。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日常生活の中で、個々の職員がその時々で状況で身体拘束か否かを考え、他の職員と相談しながら、拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会が法人に設置されており、指針・マニュアルに基づき会議や勉強会で意識づけをして、身体拘束ゼロを実践している。玄関の鍵はせずに、外出希望の利用者には、職員が自然に寄り添い散歩をしたり、店に寄ったりして買い物をして帰宅している。センサーは事業所の方針で使用していない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員同士がお互いに注意し合い、虐待防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等で学んだ事は勉強会で発表して、必要であれば活用する。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約等に関しては利用者、家族の立場に立ち、契約書類を説明して、不安が無いように対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族には、毎月の手紙や面会等で、何でも話して頂けるような雰囲気作りに留意している。出された意見、要望等は、ミーティングで話し合っ、反映させている。	利用者からは日常生活で会話や表情などから思いをくみ取るようにしている。家族には面会時や毎月の手紙で状況報告を行っている。食事量が減った時など報告し、家族がホームに来て対応を協力してもらえる時もある。利用者や家族の要望を汲み取りミーティングで話し合い運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議（月1回）の意見や提案を通して反映するように努めている。日頃からコミュニケーションを図るよう心掛けています。	毎日のミーティングや職員会議で意見交換を行っている。日常的なコミュニケーションを大切にしており、職員同士の人間関係が良好で管理者に相談しやすい環境にある。年2回、目標の自己評価と管理者や主任による面談も実施し、意見を反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の努力や勤務状況を把握して、資格取得を目指し各自が向上心を持って働けるように努めている。年2回の人事考課を行い、職員が向上心を持てるように働きかけている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>勉強会や希望する職員は研修を受けれるようにしている。研修報告は、毎月の全体会議で発表してもらい、研修報告書を回覧出来る様にしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会による研修等に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>意思伝達可能な利用者に対しては、会話等にて意向や要望を聞いているが、困難な利用者の場合、ADLの状態や行動や表情から汲み取る。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面会時や電話にて状況を説明し、家族の意向を尋ねて関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時、本人やご家族の思い、状況等を確認して、他のサービスも利用できる様柔軟に対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の得意な事を生かし支え合う関係を築いている。又、話題を提供し利用者の話やすいように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日々の暮らしの出来事や気づきを月一回手紙にして、ご家族に届けています。本人の希望が強い時は電話にて様子を伝え、面会等をお願いしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>1人ひとりの生活習慣を尊重して、可能な限り利用者の希望に添うように努め、家族の方にも協力をもらっている。</p>	<p>利用者それぞれのこれまでの人間関係を大切にしており、親戚や知人等が面会に来て菓子などの食べ物を持参しお茶飲みをしている。家族の協力を得ながら行きつけの美容室や買い物・墓参り・外食・自宅周辺へのドライブ等、馴染みの人や場との関係が途切れないよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>みんな楽しく過ごせるように、個人のこれまでの生活歴を尊重し孤立しないように職員が調整役となり支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院等による他施設への移設の場合、施設紹介や相談にも応じ、又サービス終了後も行事への招待や継続的な付き合いできるように心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	認知症の程度にもよるが、日々のかかわりの中での把握に努め、又会話や行動から、本人の思いや希望を汲み取る努力をしている。	日々の関わりの中で会話やしぐさなどから思いや意向の把握に努め、くつろいだ時など会話から個別的に聞き入れている。申し送りノートで情報を共有しケース記録に記載している。意思疎通が困難な利用者には、表情やしぐさで察知したり、家族から聞き取りをしたり工夫している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や御家族から、話等を聞いて、理解し、現状を知るようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員一人ひとりが日常生活の中で、現状の把握に努め、知りえた情報を共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議にて現状を話し合い、課題としてあがった事について、介護職・看護職の立場から意見を出し合い、ご家族の意向等も配慮しながら作成している。	本人や家族・主治医の意見を考慮しながら介護計画を作成している。担当制で毎月モニタリングを実施し、3ヶ月に1回評価を行いユニット会議で検討している。状況変化時には随時、カンファレンスを行い、家族も交えて検討し現状に即した介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録及び申し送りノートから情報の共有をしながら、実践・見直し等に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる又家族の方の時間があれば昼食提供している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のサロンやイベント参加にて、楽しんでもらっている。御住職様に講和をお願いし聞いてもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の下で必要であれば、内科、整形外科等、専門の医療機関との連携を持ち支援してる。	入居前のかかりつけ医の受診を支援している。定期受診は職員が対応し、看護師が主治医と連携を取っている。他科受診については家族の協力を得ながら対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職からの情報を毎朝申し送り時に状態を確認し、説明と共に、伝達・指導を受けている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>看護師を通じて、情報交換や相談等を行っている 入院時は、定期的に見舞い、情報を得ている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人の意思（思い）を尊重しながら、ご家族へ早い段階から相談し、事業所としてできることを説明する。状況を医師から家族と職員に説明してもらい今後の方針を共有している。</p>	<p>看取りの指針やマニュアルがあり、入居時に重要事項説明書に基づいて説明し、同意を得ている。ターミナルについての勉強会も定期的の実施している。重度化等の必要時には主治医より家族や職員へ説明があり、今後の方針を家族と話し合っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会で定期的な訓練は行っている。緊急時は看護師と連絡を取り、指示にて対応している</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練及び夜間を想定した夜間時の訓練を行っている。自治会でのお願いや運営推進員会議で協力を呼び掛けている。</p>	<p>消防署の立会いのもと年1回昼夜間想定避難訓練を実施している。川が近くにあるので、水害を中心に災害訓練と自主訓練もしている。スプリンクラーや緊急通報装置・連絡網も完備している。避難場所は近くの高台の公民館にしている。運営推進会議前に訓練を行い、地域住民の参加など協力体制を整えている。災害時の備蓄は防災の日点検をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の生活歴や性格を本人及び家族からの情報を基に知り、心の負担にならないように、又自己決定しやすいような言葉かけに努めている。	個人情報保護や人格尊重を大切に、勉強会を開催している。誇りやプライドを損ねる言葉かけなどには十分注意している。排泄や入浴介助時など、言葉かけや対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症の進行状態によって思いを伝えることが困難な方には、その人の行動や様子、表情から思いを汲み取る努力をしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の思いを大切にして、希望に添った支援を行い、又個々のペースに合った対応に心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみについては気をつけて、希望者は、美容院に出かけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に食べているし、楽しく食事が出来るような雰囲気作りも大切にしている。	利用者個々の力に応じて菜園で一緒に作った野菜の下ごしらえやテーブル拭き・下膳など、職員と共に行っている。季節の行事食や誕生日食・外食・弁当持参の外出などの支援を行っている。食事前に嚥下体操をしたり、簡単なレクリエーション体操をして食事が美味しく食べられるようにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、食事形態、水分量に関しては、個々の状態等を考慮しながら支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの状態に合わせて、声掛けや一部介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意・便意の乏しい利用者場合は、定期的にトイレ誘導を行っている。尿意はあるが、失禁の多い利用者場合は、自尊心に配慮したトイレ誘導を行っている。	支援が必要な利用者は、排泄チェック表を参考にして声かけを行い、排泄の失敗がないように早めにトイレ誘導をしている。自立している利用者は、居室のトイレで排泄を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録を通して便秘にならぬよう便秘薬の調整や水分量、繊維の多い食べ物を提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の希望やタイミングに合わせて入浴行っている。入浴を拒む利用者様は、気持ち良く入って頂くように言葉かけや工夫して対応している。	入浴は1日毎に実施し、希望があれば臨機応変に入浴ができるようにしている。拒否のある利用者は時間差や職員交代・声かけの工夫で対応している。困難な場合は清拭を行っている。エアコンで温度調整を行い気持ち良く入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は設けず、それぞれの就寝時間や、その日の体調等に合わせて休んでもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書が定期薬処方時に配布されるので、毎回確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>本人の希望に応じドライブや散歩を行っているし、又掃除や洗濯物たたみも御願ひしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>本人の希望に添って、散歩や買い物に出かけている。</p>	<p>天気の良い日はホームの近辺を散歩したり、個別的にその日の希望を聞いて買い物や自宅周辺へのドライブ・墓参り・買い物の同行など、日常的に外出の支援を行っている。家族の協力を得ながら地域行事への参加や花見・外泊をして自宅で親戚の集まりなどに参加し楽しんでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一部の利用者さんは現金を所持していますが、殆んどの利用者様が家族の管理になっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば連絡をとっている。年賀状を出す必要な支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペース・居室内の衛生面は保たれ、居心地よく過ごせるように支援している。又使い慣れたテレビや家具等の持ち込みされている。	ホールは広く採光を取り入れて明るく、空調管理がされている。窓際にたくさんの観葉植物が置かれ、壁には手作りの作品や写真が飾られている。公園で遊ぶ子ども達の声聞きながら、ソファやこたつでくつろげ、居心地良く過ごせる環境となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様の席の配置等を工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族・利用者様の意向に添っている。馴染みのテレビや家具等を持ち込まれ、居心地良さを配慮している。	居室にはベットやエアコン・洗面台・クローゼット・トイレが完備されている。温度計や加湿器などが置かれ快適に過ごせるようになっている。利用者はテレビや仏壇・写真などの馴染みの物が持ち込み気持ちよく整理され、落ち着いた部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりが安全かつ自立した生活が送れる様にバリアフリー対応されている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない